

<<四国、文化と出会う－美術館と博物館を中心にした文化紀行>>

咸 多彬

1. はじめに

四国は豊かな自然環境に恵まれ、1200年の歴史を誇るお遍路があり、阿波踊りとよさこい祭りが開かれる場所である。豊かな自然のなかで育まれてきた特色ある歴史や伝統を持っている場所。

四国の博物館と美術館を見学を本当に楽しめました。

「日本の文化と伝統を体験したい。世界のいろんな芸術作品をみたい」と思って2週間の四国巡りを企画しました。

2. 地方別、施設リスト：四国四県、総計して20ヶ所の博物館と美術館を訪れた。

県名	施設名
香川 (八カ所)	-直島：ベネッセハウス ミュージアム、李禹煥美術館、地中美術館 -高松：四国村、イサムノグチ庭園美術館、ジョージナカシマ記念館 -丸亀：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、丸亀平井美術館
愛媛 (四ヶ所)	-松山：愛媛県立美術館 -西予：愛媛県歴史文化博物館 -今治：タオル美術館 ICHIHIRO、今治市河野美術館
徳島 (四ヶ所)	-徳島：徳島県立博物館、徳島城博物館、阿波踊りミュージアム -鳴門：大塚国際美術館
高知 (四ヶ所)	-高知：高知県立美術館、いの町紙の博物館、高知よさこい情報交流館、竜馬の生まれたまち記念館

3. 博物館と美術館体験

①歴史と文化体験

今回の四国旅行でぜひ体験してみたかったのは徳島の阿波踊りと高知のよさこい踊りだった。徳島の阿波踊りと高知のよさこいは日本内でも有名な伝統踊りである。

徳島県と高知県では毎年、大きいな祭り祭りが行われる。地方の踊りを紹介する博物館を建て、踊りの歴史と文化を体験できるようにしている。徳島の阿波踊り会館にある阿波踊りミュージアムでは3D映像で祭りと踊りを見ることができる。ちなみに毎日二階の阿波踊りホールでは阿波踊りを直接見ながら踊りを習う時間がもうけられています。高知のよさこい情報交流館のよさこい体験センターでは動画を見ながら踊りを学ぶことができ、踊りの衣装を着て記念撮影もできる。



今回の旅行で阿波踊り会館で阿波踊りを直接見た。60分の間の踊りを見て、その後一緒に踊ったことで、日本の伝統の踊りに興味を持つようになった。踊り以外も、今治市河野美術館で「俳句の大家」芭蕉の作品を観覧した。その後、坂本竜馬のふるさとである高知の竜馬の生まれたまちの記念館で竜馬の幼い頃の時代を感じた。博物館と祭りなどで地域の文化と歴史的風致を維持していて、観光客にも地域のいいイメージを持つきっかけになると思う。

②四国で名画を鑑賞する方法

韓国で世界的に有名な名画を鑑賞できる機会はあるまいと思う。しかし、今回の四国旅行でパブロ・ピカソ、シャガール、アンディ・ウォーホル、ゴッホ、クロード・モネ等の画家の作品を見る機会があった。

地中美術館でモネの睡蓮5点、大塚国際美術館では原寸大の陶板を観覧することができる。古代エジプトから現代まで様々な作品を5階の広いビルで鑑賞することができる。まるでヨーロッパへ来たような錯覚に陥る。特に、ゴッホの描いた「ヒマワリ」の中でも第二次世界大戦の折に焼失した、通称"芦屋のヒマワリ"を原寸大の陶板で再現し、追加展示をしている。もう二度とみることができない原作を復活させたのが素晴らしい。

大塚国際美術館は全ての作品の写真撮影ができて、最後の晚餐で有名なシスティーナ礼拝堂天井画、真珠の耳飾りの少女、モナリザなどの作品と一緒に写真を撮ることもできる。

高知県立美術館はシャガール・コレクション展を運営している。油彩画等5点、版画1,202点を所

蔵している。今回の見学で初めて **シャガール**の作品を見た。

③日本の建築家と出会う



今回の四国旅行で日本を体表する3人の建築家(安藤忠雄、ジョージ ナカシマ、イサム・ノグチ)の作品に出会った。

最初は韓国でも有名な安藤忠雄だった。直島には彼が設計したベネッセハウスミュージアム、李禹煥美術館、地中美術館がある。最初は灰色のコンクリートの壁で作られた建物が不自然に感じられると思う。しかし、彼の作品をずっと見てみると、むしろ灰色の壁が与える冷たい感触とともに、安定感を感じる。私たちはコンクリートを‘文明の利器’に思うけど彼は作品で自然的な素材の一つで使用している。特にビルの採光のため自然光利用した点が良い。単に窓を大きく作ることじゃなくて、小さい窓のすきから光が差し込むことは素晴らしかった。

二番目は家具デザイナーと建築家であるジョージ・ナカシマに会った。高松の記念館で日系米国人である彼の人生と作品を理解できた。1階のカフェでは彼が作った椅子に座ってお茶を飲んだ。木目を生かした椅子に座っているだけでも心地よくなって単純デザインでも感動した。

最後にはイサム・ノグチ庭園美術館で石を使って作った作品を見た。作品自体より“空間が目立つ”形をしていて自然を感じるようにしたことが良かった。3人の建築家は自然を利用して本来の美しさを表す作品を作った共通点があった。日本の人は自然を愛し、利用しながら保存する共存の印象を受けた。

4. まとめ

多くの施設を見学したので、短い文で伝えたいことをまとめるのはが難しかった。言葉で美術館と博物館の素晴らしさを説明するのも限界があると思う。博物館以外にも様々なところに行った話もあった。例えば、四国のお遍路を体験するために3ヶ所のお寺に訪れたことや、高知県でMY遊バスに乗ったことなど。MY遊バスで桂浜と牧野植物園に行って自然を満喫したことも記憶に残っている。今回の旅行で四国のいろんな博物館と美術館を見学できて本当に楽しかった。日本の文化を体験できた貴重な経験でした。